

# 宇佐市立駅館小学校 の導入状況

「令和3年度小学校教科担任制推進に係る取組状況」を基に作成

## ①高学年の教科担任制（学級担任間の交換授業）導入の概要

※推 進・・・小学校教科担任制推進教員

年 組	担 任	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	指導に関わる 教員数
5年1組	A先生	C	B	A	B	専 科	専 科	専 科	A	専 科	7
5年2組	B先生										7
5年3組	C先生										7
6年1組	推 進	推進	推進	D	D				高学年以外 の担任	D	6
6年2組	D先生										5

※太線囲みは学級担任間の交換授業

- 若手教員とベテラン教員との**バランス**。
- 本人の希望と**教科免許**を優先して決定。
- 専科教員と教科担任との**バランス**に配慮。

## ②担当教科数と週当たりの空き時間数

	担当教科数	空き時間数(週当たり)
A先生	2	5
B先生	2	8
C先生	1	8
推 進	2	7※4年国語
D先生	3	7

※担当教科数は、総合的な学習の時間、学活、道徳を除く。



## ③日課表作成のポイント

- 担任の1週間の**持ち時間を同じくらい**にした。
- 特別教室を使用する関係で、理科や音楽、体育などは先に時間枠を決定。
- 特別支援学級や通級の児童の困りがないよう作成。

## ④円滑な導入へのポイント

- 教科担任制を行っている5・6年は、高学年部会を活用し、情報共有することを確認。
- 教科担任制に不安がある教員がいる場合は一人で抱え込むのではなく、**チーム**で対応。
- 専門性を深めるために、各種研修会や研究会等に参加しやすい体制を整える。

